

本時のねらい

今の生活をよりよく持続するために、これからの自分たちにできるSDGs宣言（プレゼンテーション）をすることができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- 一人ひとりが自分の分担か所をパワーポイントのスライドにまとめたあと、班員の内容をまとめ「私たちの班のSDGs宣言」のプレゼンテーション資料を作成する。
- スライドをつなげる行程で、自分の意見だけでなく、班員の意見を共有することで多面的・総合的に考える力を養わせる。
- 発表を行うことで、自身の主張や共有した学びをより確かなものにさせる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- タブレット端末
- パワーポイント

本時の展開（全3時間計画：3時間目）

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○SDGs宣言の発表の流れを説明 ・班の中で発表者と他の発表を聞きに行く役割分担をし、具体的な動きについての説明を行う。 ・リハーサルを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表前の最終確認では、作成したスライドで確認作業ができるので効果的である。
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> ○発表 ・各班を2つのグループにする。 ・6班がそれぞれの班に移動して、プレゼンテーションをする。 ・自分たちが作ったスライドを見せながら、他の班すべてに発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表情や表現方法を意識したうえで、スライドやアニメーションに合わせて、より効果的に伝わるよう意識させる。 ・スライドには文字数に制限があるので、用意していた内容に口頭での説明を付け足しても良いことを伝えておく。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返り ・みんなの発表を聞いて、思ったこと・感じたこと・新たに気づいたことなどを自由にふりかえり、自分たちにできることを継続していく大切さを確認する。 	

1人1台端末を活用した活動の様子

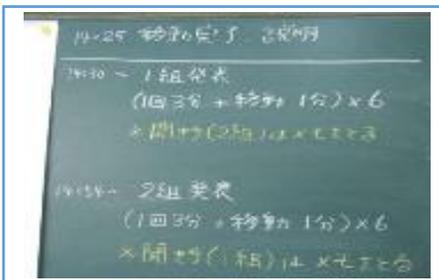


写真1：板書に1コマの流れを確認している場面



写真2：各班、班員を交代して発表し合っている場面



写真3：パワーポイントのスライドに合わせて発表している場面

児童生徒の反応や変容

- ・6回の発表を通して、伝え方がどんどん向上していく様子があり、また、発表者として堂々と発言できるようになった。
- ・興味深い写真やアニメーションを駆使することで、発表を見ている方の子どもたちが、発表に集中し、興味を持つ様子が見られた。
- ・本単元の活動を通して、発表の難しさと楽しさを理解している様子が伝わってきた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・スライドの枚数を制限したことで、1つひとつの内容を膨らませながらも、言葉を精選している場面が見られた。やはり、枚数制限や字数制限を行うことは表現の向上につながると感じた。
- ・相手に聞き取りやすくするために、ゆっくり話したり、アドリブを入れたり、自由な工夫が見られ、プレゼンターとしての成長が見られた。
- ・生徒は、想像以上にパワーポイントを使いこなしており、こちらの想像を超えたプレゼンテーション資料が作成できた。